

GIGA スクール構想への対応について

教育委員会事務局 学校教育課 43-1177
学校管理課 20-2221

1 趣旨

GIGA スクール構想とは1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことがない公正に個別最適化された学びや創造性を育む教育ICT環境を実現するものです。

本市においても、「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 足利っ子」の具現に向け、個々の児童生徒にとって最も適した教育を行い、足利市のすべての児童生徒の力を最大限引き出すために実施するものです。

2 内容

(1) 1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する「GIGA スクール構想の実現」に向けた補助申請を行う。

ア 全小中学校の校内LAN整備

イ 全児童生徒1人1台の情報端末整備

3 使用方法

(1) 効率的に情報端末を使用した個別学習

- ・一人一人の習熟の程度等に応じた学習（ドリル学習、英会話学習等）
- ・インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録、調査活動
- ・シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習
- ・マルチメディアを用いた資料、作品の制作などの表現活動 等

(2) 個々の端末からデータを別の端末に送受信することによる効果的な協働学習

- ・個の考えを時間差無く伝える、グループや学級全体での発表・話し合い
- ・複数の意見・考えを集め、議論しての整理
- ・グループの分担、協働による作品の制作
- ・遠隔地や海外の学校等との交流学习 等

4 1人1台端末を整備し活用することで得られる主な効果

(1) 生きて働く「知識・技能」の習得

- ・子供たちの学習した記録が蓄積されることから、その蓄積された記録に基づき、習得状況や興味・関心に応じた効果的な問題の提供が可能となり、知識・技能の定着や学習意欲の向上を図れる。
- ・教師が授業改善を図る中で、個に応じた指導の手立てを構築できる。

(2) 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成

- ・端末上で、瞬時に自分の考えと多くの友だちの考えを比較することができることで、議論が活性化され、物事を説明する能力の向上を図れる。
- ・端末を活用することで、発表の苦手な子供の意見も反映される。

(3) 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養

- ・調べ学習や創作活動などにおいて、修正や記録を見直すことが容易にできることで、学びの幅を広げたり、深めたりすることにつながる。
- ・動画やアニメーション等の活用により、子供たちの興味・関心をより一層喚起することで学習意欲を向上させ、自主学習、家庭学習につながる。

5 事業費（案）

(1) 校内通信ネットワーク整備費小中学校33校（令和2年度）	183,912千円
(2) 全児童生徒1人1台端末整備費（令和2～5年度）	872,023千円
(3) 教師用端末整備費（令和2～5年度）	36,653千円
合計	1,092,588千円

6 整備スケジュール（案）

令和2年度 校内通信ネットワーク整備

小学5・6年、中学1年の端末整備及び教師用端末整備

令和3年度 中学2・3年の端末整備及び教師用端末整備

令和4年度 小学3・4年の端末整備及び教師用端末整備

令和5年度 小学1・2年の端末整備及び教師用端末整備

7 今後のスケジュール

令和2(2020)年 6月 6月議会補正予算議案提出